

總評

上位の作品はいずれも、気持ちの高まりを感じさせる堂々とした作品で、皆さんのコンクールにかける意気込みを大いに感じました。今回受賞を逃した作品も、その差はわずかです。努力の積み重ねが必ず実を結びます。来年はいよいよ記念の第十回です。さらに腕に磨きをかけてがんばってください。

「文化財保存」

兵庫県相生市立双葉中学校

三年 舟瀬 純子



文化財
保存

中三
舟瀬純子

▲よく行き届いて、しかも迷いのない筆の動きが、これまでの修練を物語っています。他の力作を圧して、堂々の受賞です。

總評

また、何か特別な経験ばかりを描くのではな

「八才の夏」

愛知県名古屋市長守山小学校

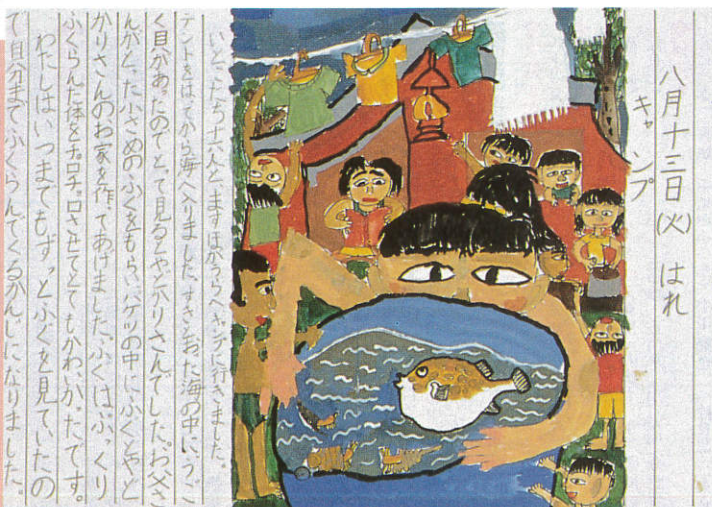
二年 荒川 翔子



写真やチケット、折り紙、布などをたくさん貼った作品が多かった中で、絵日記の原点に戻り、絵がしつかりかかっている、生き生きとした作品です。

絵は、鉛筆の跡が見られず、サインペンで線をかき絵の具で色を塗っていて非常に鮮やかです。色の使い

方も原色を十分に生かして
いて、ダイナミックな仕上
がりになっています。また
「一日お母さん」ようちゅ
うだ」のように、日常ので
きごとに目を向けている点
が、素直でよいところだと
思います。こうした自由な
発想を、いつまでも持ち続
けてほしいと思います。



く、ふだんの生活の中の何気ないできごとを、自分の目で見たままに描くと、自分らしさが出てくるのではないでしょうか。

今後は、そういった素直で楽しい作品を期待しています。